

大学等設置に係る年次計画履行状況報告書

1 調査対象大学等の概要等

区 分	内 容										備考
(1) 設置者	北海道 名寄市										
(2) 大学の名称	名寄市立大学										
(3) 大学本部の位置	北海道名寄市西4条北8丁目1番地1										
(4) 管理運営組織		認可時				変更状況					組織 整備 による 設置
	職 名	(フリガナ) 氏 名 (現職就任年月)				(フリガナ) 氏 名 (現職就任年月)					
	理 事 長										
	学 長	クボタ ヒロシ 久保田 宏 平成18年4月									
	学 部 長	ヤハタ タケヒロ 八幡 剛浩 平成18年4月									
	学科長等					栄養学科長 大見 広規 平成18年4月 看護学科長 深澤 圭子 平成18年4月 社会福祉学科長 岡部 和夫 平成18年4月 教養教育部長 小古間 甚一 平成18年4月					
(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学状況等											
調査対象学部等 の名称 (学位)	認可時の計画				入学状況等						平均 入学定員 超過率
	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	区 分	平成18 年度	平成19 年度	平成20 年度	平成21 年度		
保健福祉学部 栄養学科 学士(栄養学)	年	人	年次 人	人	A 入学定員	人 () 40	人 () 40	人 (3) 40	人 (3) 40	倍 1.03	
	4	40	3年次 3	166	志願者数	() 204	()	()	()		
					受験者数	() 190	()	()	()		
					合格者数	() 41	()	()	()		
					B 入学者	() 41	()	()	()		
					入学定員 超過率 B/A	() 1.03	()	()	()		

					在学者数	1年次 [] 41	1年次 [] 2年次 []	1年次 [] 2年次 [] 3年次 []	1年次 [] 2年次 [] 3年次 [] 4年次 []		
						計41 []	計 []	計 []	計 []		
保健福祉学部 看護学科 学士(看護学)	4	50	3年次 5	210	A 入学定員	() 50	() 50	(5) 50	(5) 50	1.04	
					志願者数	() 473	()	()	()		
					受験者数	() 420	()	()	()		
					合格者数	() 80	()	()	()		
					B 入学者	() 52	()	()	()		
					入学定員 超過率 B/A	() 1.04	()	()	()		
					在学者数	1年次 [] 52	1年次 [] 2年次 []	1年次 [] 2年次 [] 3年次 []	1年次 [] 2年次 [] 3年次 [] 4年次 []		
	計52 []	計 []	計 []	計 []							

保健福祉学部 社会福祉学科 学士(社会福祉学)	4	50	3年次 7	214	A 入学定員	人 () 50	人 () 50	人 (7) 50	人 (7) 50	1.02	
					志願者数	() 156	()	()	()		
					受験者数	() 143	()	()	()		
					合格者数	() 63	()	()	()		
					B 入学者	() 51	()	()	()		
					入学定員 超過率 B/A	() 1.02	()	()	()		
					在学者数	1年次 [] 51	1年次 [] 2年次 []	1年次 [] 2年次 [] 3年次 []	1年次 [] 2年次 [] 3年次 [] 4年次 []		
	計51 []	計 []	計 []	計 []							

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留意事項	履行状況	未履行事項につ いての実施計画
認可時 (平成 17 年 12 月 5 日)	設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。 また、開設時から 4 年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	学長、学部長、学科長等で組織する運営協議会の中に「FD委員会」を設置し、教育内容・方法を組織的に研究・研修して、教育・研究活動の改善と充実に努める。 研究費の申請に基づいて審査を行い、学長裁量枠で重点配分を行う。また、報告書に基づいて評価を行い次年度の研究費に反映させることで研究水準の向上に努める。	
	科目区分「援助技術・方法」を「関連技術・方法」等に変更するなど、科目区分の整理について検討し、教育課程の一層の明確化を図ること。(社会福祉学科)	教育目標に掲げる社会福祉士養成や教育課程編成の特色として掲げる連携教育科目の設置を踏まえ、「基幹科目」、「専門基礎科目」、「健康・疾病・障害」、「専門基礎科目」、「社会・文化・人権」、「専門科目」、「ソーシャルワーク」、「専門科目」、「援助技術・方法」、「専門科目」、「現場実習」、「専門科目」、「対象別分野」、「専門科目」、「地域福祉・環境」、「専門支持科目」とした科目区分を「社会福祉士指定科目」、「学科専門科目」、「学部共通科目」、「資格関係科目」に改め、教育課程の一層の明確化を図った。	
	「ソーシャルワーク」の講義科目と演習科目の円滑な連携を図ること。その際、社会福祉士養成の指定規則との整合性に留意すること。(社会福祉学科)	上記の科目区分の改正および科目の再配置により講義科目と演習科目の連携を図るとともに、社会保障特論(必修・2単位)を新たに加え、社会福祉現場実習指導(必修・1単位)、社会福祉現場実習指導(必修・2単位)としてカリキュラムの充実を図り、選択・2単位の高齢者福祉論、障害者福祉論、子ども福祉論を必修科目とし、指定規則との整合性を図り、保育原理、栄養学、精神保健論、子どもの権利、基本介護技術、介護現場実習を必修科目から選択科目に変更することで卒業単位 128 単位での調整を図った。	

年次計画履行状況調査時 (年月日)			
年次計画履行状況調査時 (年月日)			

7 その他全般的事項

保健福祉学部 学科

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況，今後の見通しなど

(2) 自己点検・評価等に関する事項

<p>A 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 (別紙のとおり)</p> <p>B 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表(予定)時期 平成19年5月1日公表予定</p> <p>b 公表方法 自己点検・評価報告書を刊行し、議会及び希望する学生に配布予定 ホームページ上に公開予定</p> <p>C 認証評価を受ける計画 平成23年度に評価機関大学基準協会の評価を受けるべく学内で検討中</p>

別紙

A 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1 .栄養学科、看護学科、社会福祉学科の3学科による利点を生かして、教育と研究の質を高め、さらに本学の社会的・地域的あり方をより確かなものにしていくために、「教員組織の概要」に基づく年次別配置計画の履行はもとより、完成年度後を視野に入れて教員の年齢構成を含めた研究者、実務家教員の適正配置等により一層の充実強化を進めていく。

また、地域交流センターの設立により、地域研究の推進を主眼とする道北地域研究所との連携を図り、大学と地域の実践的な活動の拠点としての役割を担うこととした。

その一環として、高大連携による「食品学」「食品の保存と製造」分野と食品加工・製造技術を組み合わせ、地場産品を用いた小・中学校向けの学校給食を開発し、地域の食育に結びつける試みを始めたところである。